

JILPT 調査シリーズ

No.201

2020年3月

フリースクール・サポート校等における 進路指導・キャリアガイダンスに関する調査結果

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



JILPT 調査シリーズ No. 201

2020年3月

フリースクール・サポート校等における
進路指導・キャリアガイダンスに関する調査結果

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

従来型の学校になじめず不登校となった生徒たちの新たな進路として、フリースクールやサポート校といった施設の存在感が近年高まっている。本書は、フリースクール等の施設に在籍し、義務教育段階を終了し「高校生」に相当する年代の生徒に対する、キャリア支援や進路指導等の実態を明らかにすることを目的として執筆されたものである。

当機構ではこれまで、特に就職活動や就職後の定着に困難を抱えやすい若者の実態把握や効果的な支援のあり方に関する研究をプロジェクト研究の一環として進めてきた。若者向け就職支援機関や大学キャリアセンター等へのヒアリング調査や、高校の進路指導教員そして高等教育機関（大学・短期大学・高等専門学校・専門学校）のキャリアセンターでの就職支援の実態や課題に関するアンケート調査を経て、学校から目の届きにくい学生・生徒や、就職に難しさを抱える若者の状況把握を行うとともに、現場の支援者から情報を収集することで、特に、就職困難が予想される若者への効果的なキャリア支援のあり方について検討してきた。そして今回の調査研究では、フリースクールやサポート校等を新たな調査対象に設定した。このような施設には、何らかの理由で既存の「学校」に通わない生徒たちが多く在籍していると考えられるが、彼らもある時点になれば施設を卒業し、大学等へ進学するか、就職して社会に巣立つことになる。そのような意味では、施設にも「学校」と同レベルの進路指導やキャリア支援の機能が備わっていることが望ましいと考えられる。その実態がどのようなものになっているのかを調査するのが、本書の基本的な問題関心である。

フリースクールやサポート校といった施設は、労働行政の文脈としては過去にほとんど接点がなく、実態も全く知られてこなかった。本調査で明らかとなったのは、各施設の教育方針や活動実態の多様さと、支援に携わるスタッフのキャリア支援に対する意識やその熱意であった。大変貴重な調査結果が得られており、業務多忙な中、当調査の回答に快くご協力くださったスタッフの方々と施設に対し、この場をかりて心から御礼申し上げたい。

本書の知見が、就職支援機関等でキャリア支援の実務にあたる方々にとって有益な情報となれば幸いである。

2020年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 樋口 美雄

執筆担当者

氏名	所属	担当
<small>ふかまち</small> 深町 <small>たまゆ</small> 珠由	労働政策研究・研修機構 主任研究員	第1章～4章、 5章（共著）、 6章、7章
<small>あきやま</small> 秋山 <small>ふみこ</small> 史子	労働政策研究・研修機構 アシスタントフェロー (学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程)	第5章（共著）、 付属資料（付属 統計表）

目 次

第 I 部 調査の概要

第 1 章 研究の背景・目的・方法	1
1. 背景と目的	1
1-1 調査対象施設の概要	1
1-2 本研究の背景・問題意識	5
2. 調査方法	7
2-1 調査票の作成	7
2-2 調査対象施設の選定	8
2-3 調査方法・実施時期	9
2-4 回収率	9
2-5 本書での分析対象について	10
第 2 章 調査結果の概要	12
1. 回答校（施設）と回答者の属性（第 3 章）	12
2. 施設の具体的活動について（第 4 章）	14
3. フリースクール等における進路指導の実際（第 5 章）	15
4. フリースクール等での支援事例の紹介（第 6 章）	18

第 II 部 調査結果

第 3 章 回答校（施設）と回答者の属性	21
1. 回答校（施設）の属性	21
1-1 運営主体、活動名称、地域性	21
1-2 財政面の特徴	24
1-3 生徒（利用者）に関する状況	26
1-4 開室・通学・在籍状況	30
1-5 障がいのある生徒の受入状況	33
1-6 スタッフの活用状況と主な職歴	34
2. 回答者の属性	38
2-1 回答スタッフの経歴	38
2-2 回答スタッフと生徒との関係や悩み、考え方	41
2-3 学歴・学校歴・入試に対する考え方～フリースクール等スタッフと高校教員との比較～	45
3. 小括	48

第4章 施設の具体的活動について	51
1. 主な活動の種類と教科指導の内容について.....	51
2. 個別相談の内容について.....	53
3. 生活指導の取り組みや出席悪化等への対処.....	56
4. 保護者及び卒業生の状況.....	61
5. 外部機関等との連携に対する評価.....	65
6. 小括.....	68
第5章 フリースクール等における進路指導の実際	70
1. 進路指導の実態.....	70
1-1 進路相談及び進路に関する情報提供や指導の実施状況.....	70
1-2 進路指導の推進状況と生徒の進路決定及び課題.....	72
2. 大学等への進学に際して重視する観点.....	74
3. 進路指導の体制に関する課題と悩み.....	79
4. 進路指導及び進路相談における「適性」の把握と現状.....	82
4-1 「適性」の概念に含まれるもの.....	82
4-2 「適性」把握の必要性、指導・実践状況について.....	85
4-3 適性把握に関するツールの活用状況.....	88
5. 進路指導や相談における今後の支援の方向性と現状での考え.....	90
6. 小括.....	95
第6章 フリースクール等での支援事例の紹介	99
1. 事例1：サポート校.....	99
1-1 施設の概要と指導体制、支援体制.....	99
1-2 教師の特徴.....	100
1-3 事例（大学生に対する支援事例）.....	100
1-4 当施設設立の経緯.....	101
1-5 サポート校が抱える課題（家庭の費用負担が高額となる点について）.....	102
1-6 生徒の入学・転校.....	102
2. 事例2：フリースクール・オルタナティブスクール.....	103
2-1 当インタビュー回答者のプロフィールと働き方.....	103
2-2 施設の概要と指導体制.....	103
2-3 本学の活動.....	105
2-4 入学時の状況や生徒の状況、受入体制.....	105
2-5 卒業後の進路や卒業生の状況.....	107
2-6 単位認定と学習進捗の確認について.....	108
2-7 現状での課題、今後の希望.....	109

3. 小括	109
第7章 終章	110
1. フリースクール等の多様性と抱える悩みの共通性	110
2. 生徒のキャリア支援・進路指導に対する基本的な考え方と生徒との関わり	111
3. フリースクール等と外部の社会との関わり	112
4. 今後の課題と政策的インプリケーション	113

付属資料

1. 調査票	119
2. 付属統計表	137
A. 施設・団体について	138
B. 対象者・活動状況について	141
C. 具体的な活動内容と指導について	151
D. 保護者・卒業生の状況について	156
E. 貴施設・団体を支えるスタッフについて	159
F. 貴施設における個別相談全般について	167
G. 外部機関との連携について	169
H. 進路指導、進路相談について	171
I. 進路指導・相談における「適性」の把握について	176
J. 適性検査・キャリアガイダンスツールの利用について	178